

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2年度

市町村名	ときがわ町		
提案事業名	ときがわ町活性化促進事業		
事業期間	令和2年度	～	令和2年度
事業の必要性、目的	<p>ときがわ町では、豊かな自然や歴史、文化をはじめ、首都圏からの交通アクセスの良さなどを活かすことを念頭に「観光のまちづくり」を進めているが、近年の観光情勢は常に変化しており、求められている体験型の観光等、これまでの行政主導型の取り組みでは観光客の要望に応えることが困難になってきている。</p> <p>町の観光入込客については、平成27、28年度に100万人を超えた以後は減少傾向にあるが、平成31年末に策定した「第二次ときがわ町観光振興計画」では令和9年度に130万人を目標としている。</p> <p>そこで観光振興を進める施策として、平成25年11月1日より無人駅となっているJR八高線明覚駅の駅舎の活用を考えました。明覚駅は町で唯一の鉄道駅であり、昔から町の玄関口として路線バスの停留所や乗り合いタクシーの乗降場所でもあり、通勤・通学だけではなく観光の拠点としても期待されている。駅舎については、平成9年に「関東の駅百選」に選定された特徴的な建造物でもあるため、観光の拠点としても最適である。</p> <p>このような利点と特徴を生かし、無人駅となった明覚駅を活用し観光客や地域住民が集う拠点として整備し地域の活性化を図る。</p>		
成果指標	①年間観光入込客数		
	②年間観光消費額		
	(成果検証の具体的な方法)		
	町内の観光スポット等の案内や体験型の観光を展開する。		
	(上記の指標を設定した理由)		
	町の玄関口であるJR八高線明覚駅に観光振興の拠点を整備することで、観光入込客数や観光消費額の増加を図るため。		
	(成果の目標値)		
現状値 (H31年3月現在)	①90万人 ②1,244百万円	目標値 (R4年3月時点)	①103万人 ②1,300百万円
(施設建設等の場合)			
年間利用者数(目標) (人)	案分	稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	町ホームページにより公表を行う。		

## 【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① ときがわ町活性化促進事業	ハードソフト間接補 無人駅となったJR八高線明覚駅を活用し、観光客や地域住民が集う拠点として整備することで観光振興や地域の活性化を図る。	30,000
②	ハードソフト間接補	
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
合計		30,000

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	町内のイベントにおいて観光面及び移住面からときがわ町の魅力を情報発信する。
成果指標の達成見込み	行政、関係団体、住民相互の連携により達成できると判断する。